

令和5年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立谷中小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・連用修飾語について理解すること ・指定された長さで文章を書くこと
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の習得はできているものの、知識を活用して資料を読み取ったり、記述したりすること ・学習した事柄と日常とのつながりを考えること
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・分度器などの目盛りを正しく読み取ること ・立式やなぜその答えになる理由を記述すること
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・空気のあたたまり方について理解すること

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の学習（文法事項）についての理解する力 ・文章を作成する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の学習において、主述関係を定着させた後に、述語＝用言（動詞・形容詞・形容動詞）であることを押さえ、練習問題に取り組む。 ・朝学習の時間などを活用し、段落の役割を押さえ2段落構成で文章を書けるように指導する。その上で、授業中に長文作成の時間を確保していく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用して、資料を読み取ったり、記述したりする力 ・日常生活の事象と関連付けて考え、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業の中でグループワークを取り入れ、相談しながら自分たちで資料を読み取る時間や、記述する時間を設ける。 ・学習の振り返りで時間を確保し、学習したことと日常生活や自分の考えを関連付けて文章を書くよう指導する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・分度器を適切に扱い、正確に読み取る力 ・立式や答えの理由を表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使って、道具の使い方を繰り返し練習させたり、習熟問題に取り組ませたりする。 ・数式の根拠となる箇所を文章題の中から取り出すとともに、答えをペアなどで伝え合う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の結果を基に、自分の言葉でまとめたり、既習事項を用いて学習内容を理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題把握、予想、実験、観察、結果、考察の流れを徹底し、自分の言葉で学習をまとめられるように指導していく。また、グループ学習も積極的に行い、予想・考察を共有する。